

2025年3月11日

各 位

株式会社ビックカメラ

ビックカメラが 「健康経営優良法人 2025（ホワイト 500）」に3年連続認定

株式会社ビックカメラ（本社：東京都豊島区、代表取締役社長 秋保 徹）は、経済産業省が進める「健康経営優良法人認定制度」において、「健康経営優良法人 2025（大規模法人部門）」認定と同時に、認定企業の上位 500 法人に与えられる「ホワイト 500」に3年連続6回目の認定を受けました。

当社は、「“お客様喜ばせ業”をつなぎ、期待を超える」をパーパスとし、時代の変化に対応したサービスの創出に邁進をしております。その主体となるのが「人財」です。

従業員の多様な個と主体性を尊重し、すべての従業員が「働きがい」と「働きやすさ」を感じられる職場と企業風土を醸成し、個々の成長が企業成長の源泉となるための環境作りに力をいれております。その為にも当社で働く従業員が心身とも健康であることが重要であり、会社としてサポートを行うことは当然の責任と考えております。

当社ではグループ全体で健康経営を推進しております。従業員満足度調査やストレスチェック・ウェルネスサーベイを活用の上、従業員の心身の充実度をフィジカル、メンタル、エンゲージメントの観点で数値化、定期的に効果検証と共有を実施し、各社で課題抽出の上経営戦略に落とし込んでおります。

具体的な取り組みとしては、健康経営戦略マップの刷新をおこない、当社で活躍する専門人財やサービスを、お客様のみならず従業員の健康増進に活かすべく取り組んでおります。

女性特有の健康課題に関する啓発セミナーや従業員の心理的健康をサポートするラインケア研修の実施、健康の維持・増進に資する商品から従業員が購入する際の会社補助、ITを活用した健康管理サポート、従業員のスポーツ活動支援などを行ってまいりました。

今後も、健康経営を重要な柱とし、従業員が心身ともに健やかに働き続けられる職場を提供することにより、企業全体の労働生産性（パフォーマンスの最大化）と従業員エンゲージメントの向上を目指してまいります。

健康経営優良法人とは

地域の健康課題に即した取組や日本健康会議が進める健康増進の取組をもとに、特に優良な健康経営を実践している大企業や中小企業等の法人を顕彰する制度を「健康経営優良法人認定制度」といい、認定基準を満たすことで、日本健康会議より「健康経営優良法人」に認定されます。

健康経営に取り組む優良な法人を「見える化」することで、従業員や求職者、関係企業や金融機関などから「従業員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に取り組んでいる法人」として社会的に評価を受けることができる環境を整備することを目標としています。



※健康経営は、NPO 法人健康経営研究会の登録商標です。

以上